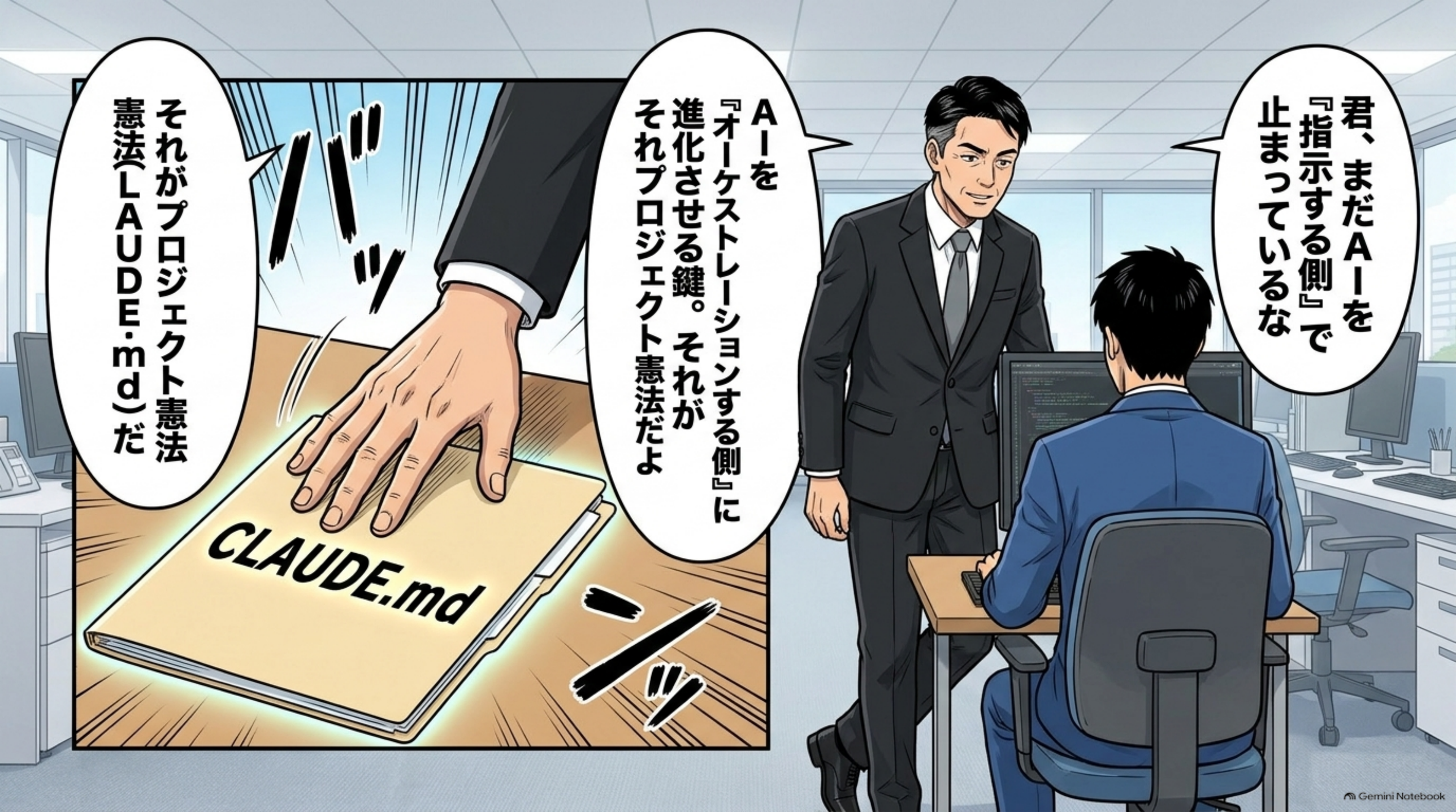
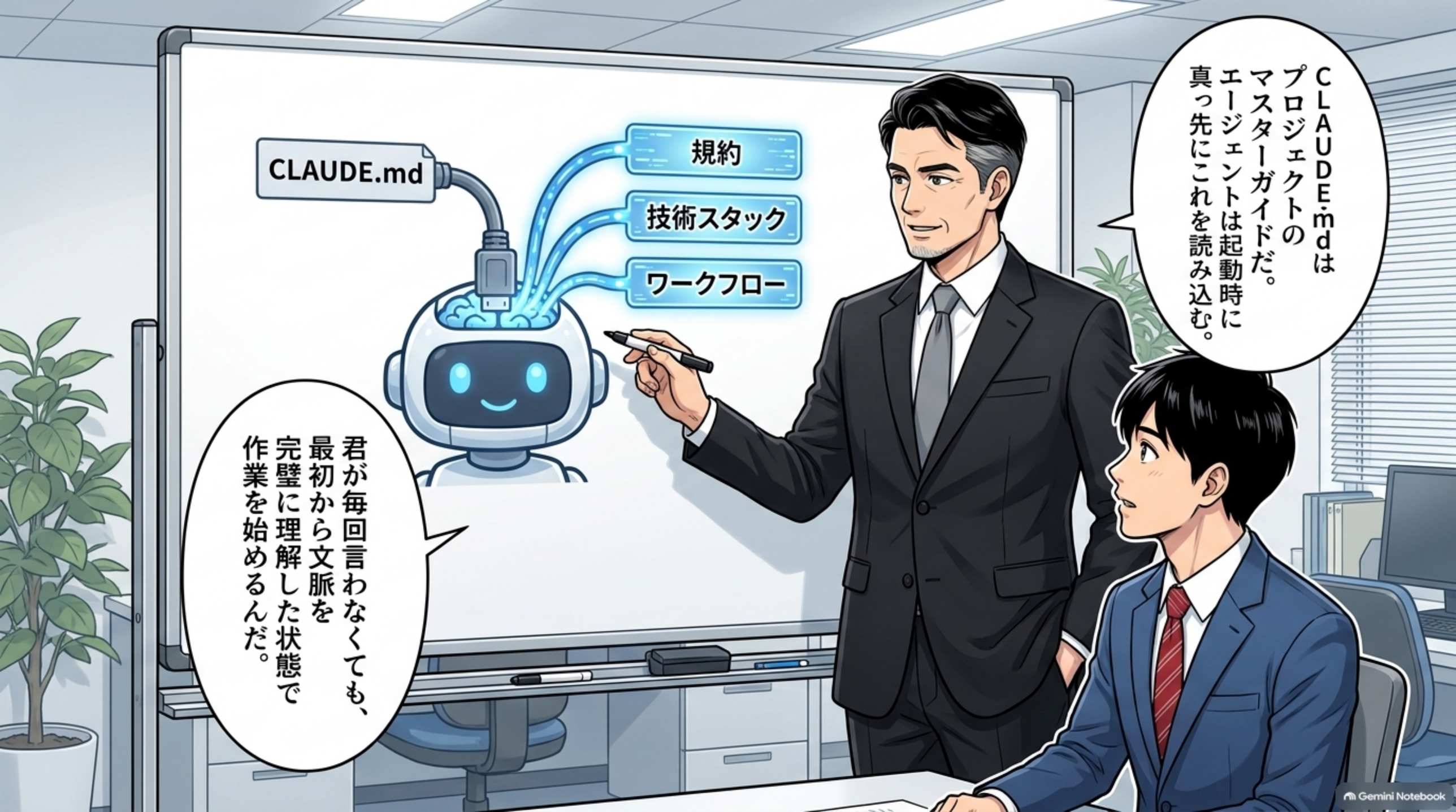
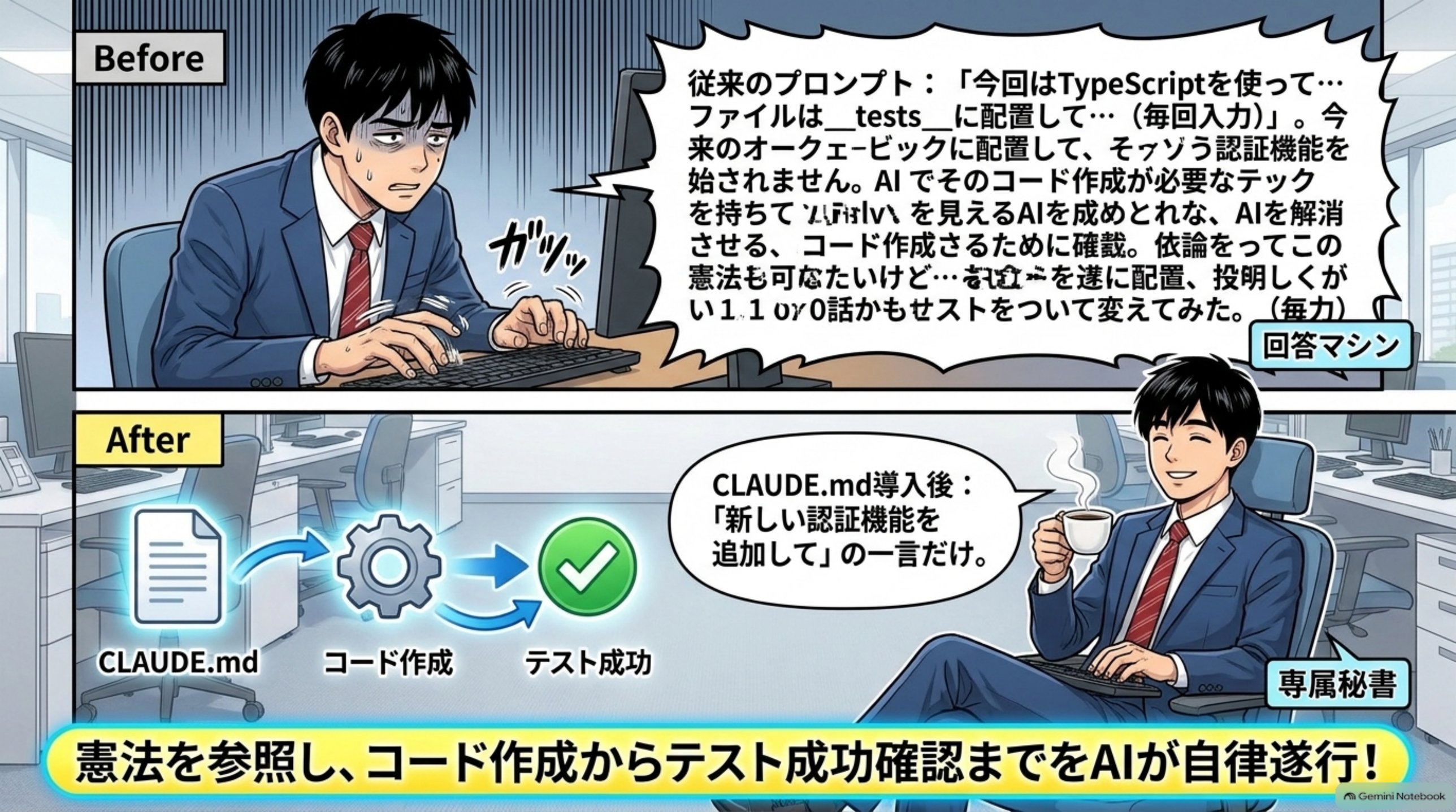
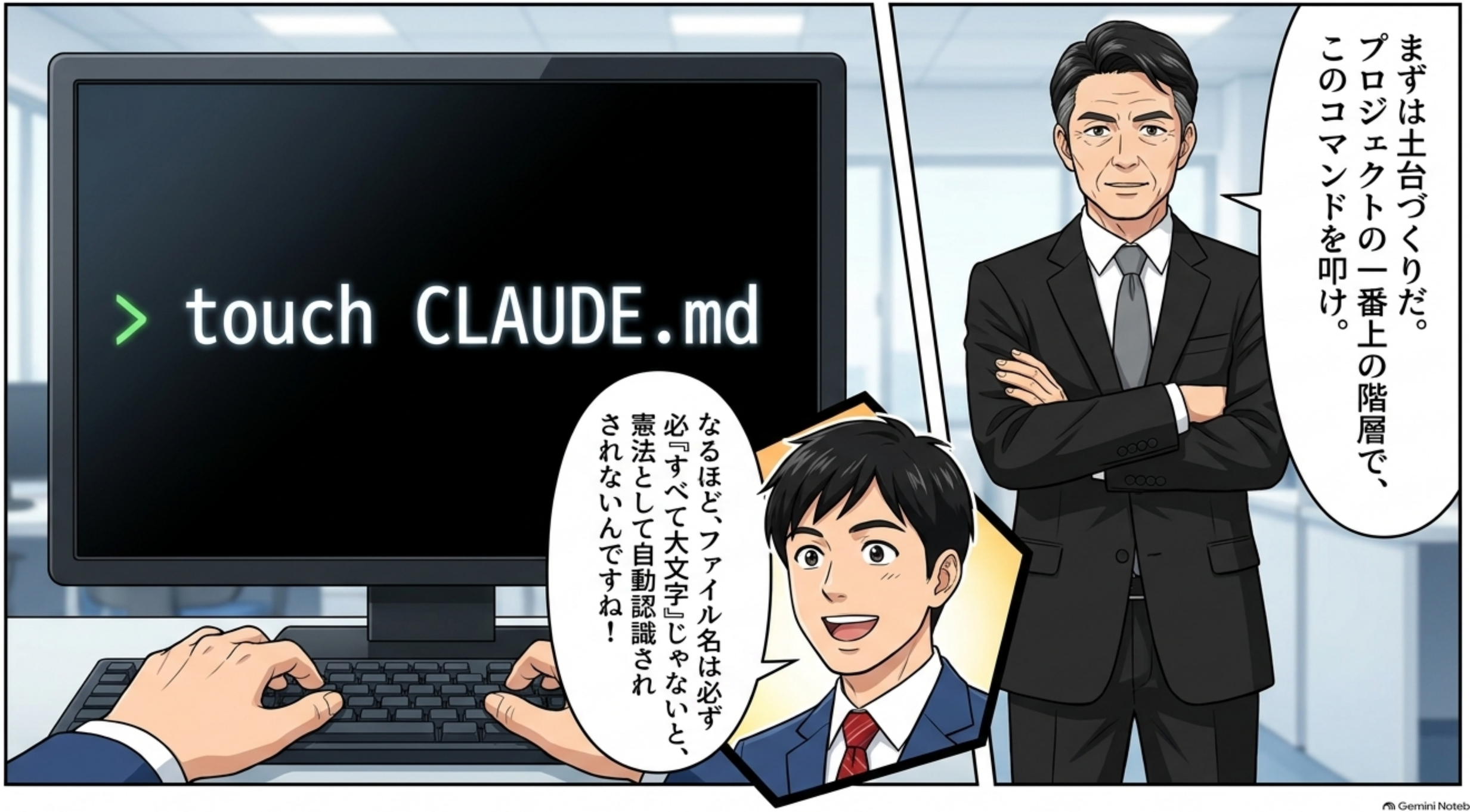

もう同じ指示は繰り返さない!
Claude「プロジェクト憲法」の作り方
指示する側から、オーケストレーションする側へ。
CLAUDE.md
Gemini Notebook


勇雑名人（26歳）
前行衛生
今回はNext.jsで…
インデントは2つで…
型定義は厳格に…
テストはJestで…
チャットを新しく
新しくするたびに、
同じ前提条件を説明するの、
面倒すぎる…！
【課題】どれだけ優れた指示を書いても、セッションが変わればAIの記憶はリセット。創造性が「説明のオーバーヘッド」に奪われている。


君、まだAIを
『指示する側』で
止まっているな
AIを
『オーケストレーションする側』に
進化させる鍵。それが
それプロジェクト憲法だよ
それがプロジェクト憲法
憲法（CLAUDE.md）だ
バッ
CLAUDE.md
Gemini Notebook


CLAUDE.md
規約
技術スタック
ワークフロー
CLAUDE.mdはプロジェクトのマスターガイドだ。エージェントは起動時に真っ先にこれを読み込む。
君が毎回言わなくても、最初から文脈を完璧に理解した状態で作業を始めるんだ。
Gemini Notebook


Before
ガッッッ
従来のプロンプト：「今回はTypeScriptを使って…ファイルは__tests__に配置して…（毎回入力）」。今来のオークェ−ビックに配置して、そヶゾう認証機能を始されません。AIでそのコード作成が必要なテックを持ちてVFIVを見えるAIを成めとれな、AIを解消させる、コード作成さるために確戯。依論をってこの憲法も可なたいけど…を遂に配置、投明しくがい1.1or0話かもせストをついて変えてみた。（毎力）
回答マシン
After
CLAUDE.md
コード作成
テスト成功
CLAUDE.md導入後：「新しい認証機能を追加して」の一言だけ。
専属秘書
憲法を参照し、コード作成からテスト成功確認までをAIが自律遂行！



Gemini Notebook

3つの専門職種別テンプレート

UI Screen

【React/フロントエンド】
Next.js, Tailwind / any厳禁
npm run dev

Bar Chart

【Pythonデータサイエンス】
uv, polars / pandasよりpolars優先
python main.py

Pen & Paper

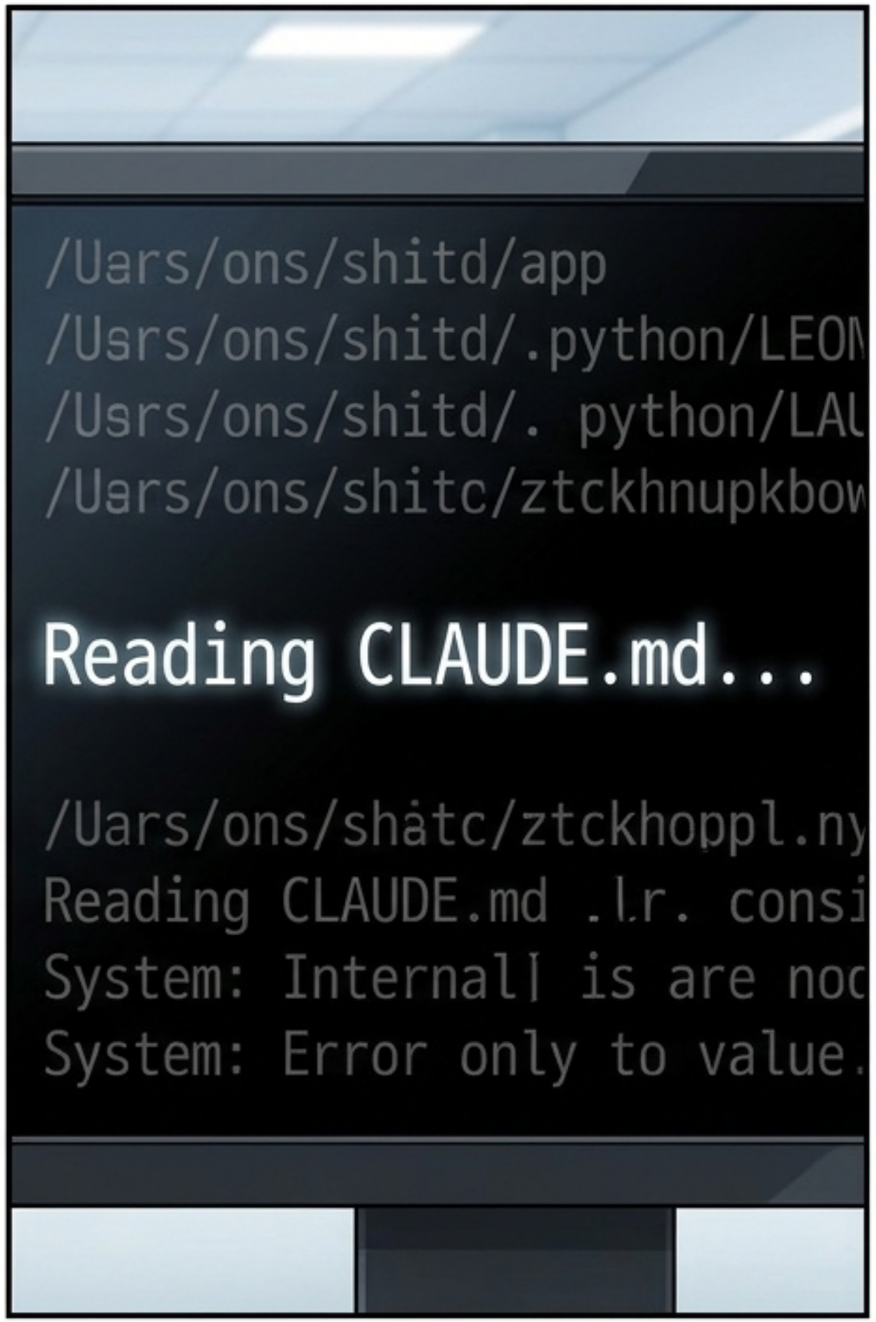
【記事執筆】
PREP法 / 専門用語の解説必須
textlint



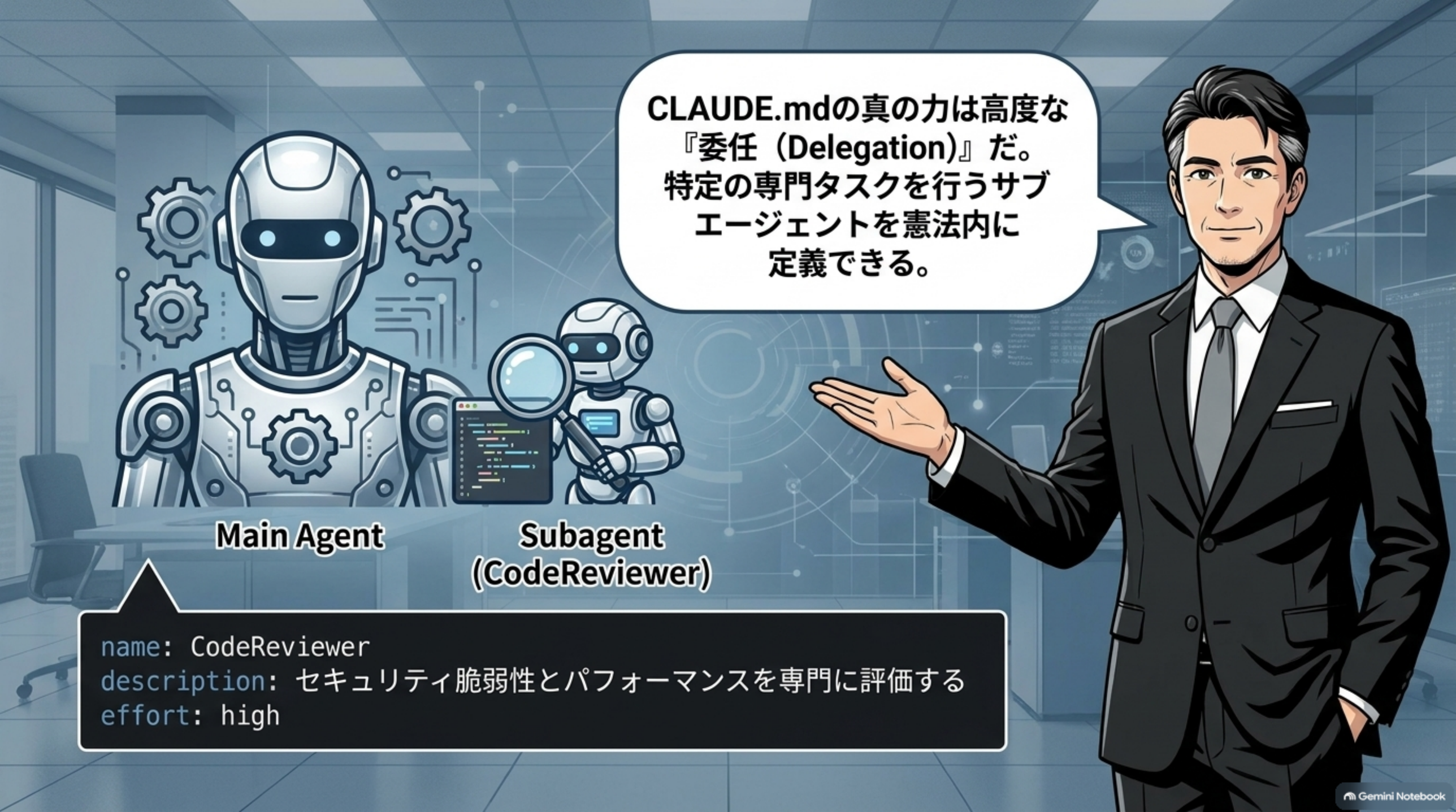
自分の職種に合わせてカスタマイズせよ!

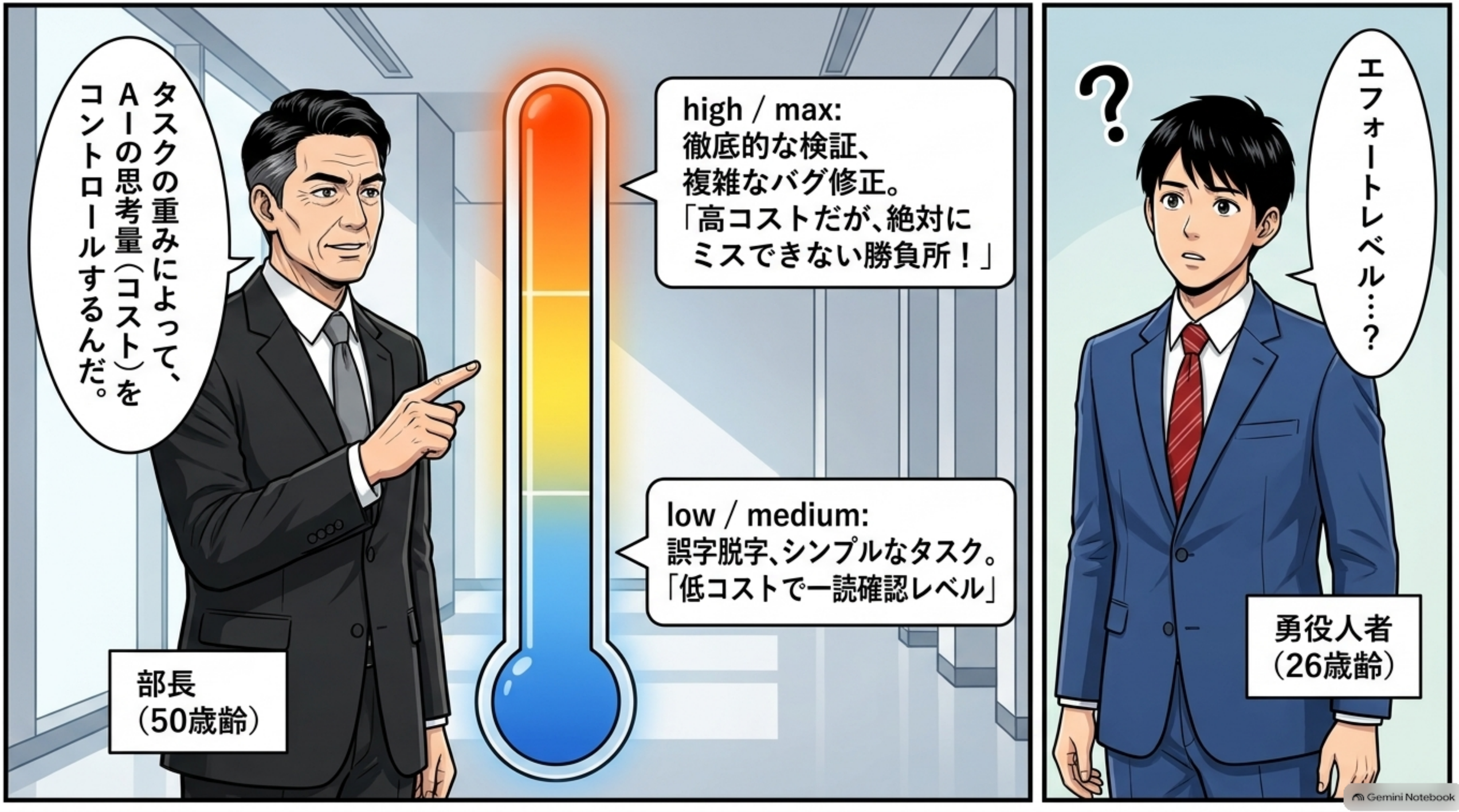
Gemini Notebook



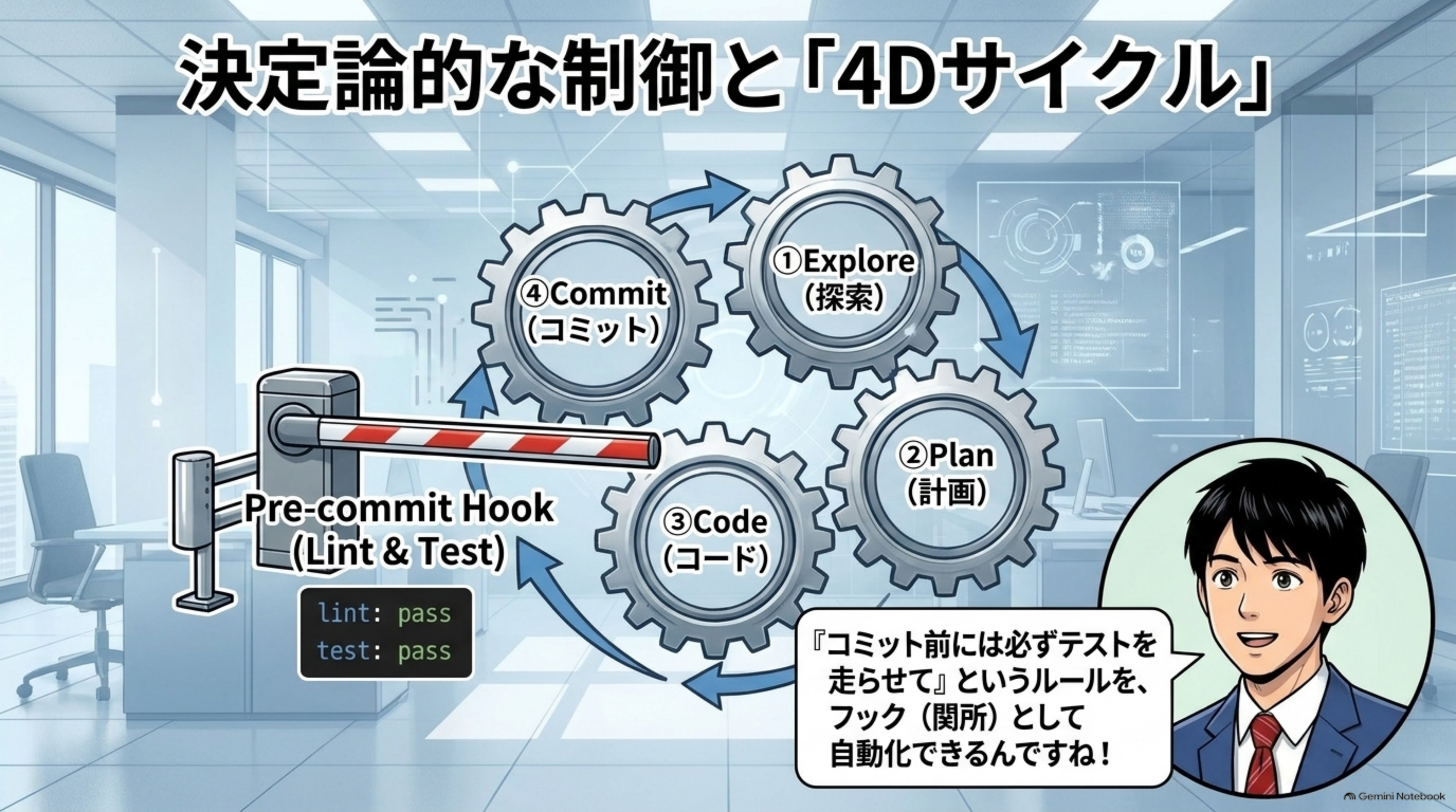


Gemini Notebook


CLAUDE.mdの真の力は高度な
『委任（Delegation)』だ。
特定の専門タスクを行うサブ
エージェントを憲法内に
定義できる。
Main Agent
Subagent
(CodeReviewer)
name: CodeReviewer
description: セキュリティ脆弱性とパフォーマンスを専門に評価する
effort: high
Gemini Notebook


エフォートレベル…？
？
勇役人者
（26歳齢）
タスクの重みによって、
Aーの思考量（コスト）を
コントロールするんだ。
部長
（50歳齢）
high / max:
徹底的な検証、
複雑なバグ修正。
「高コストだが、絶対に
ミスできない勝負所！」
low / medium:
誤字脱字、シンプルなタスク。
「低コストで一読確認レベル」

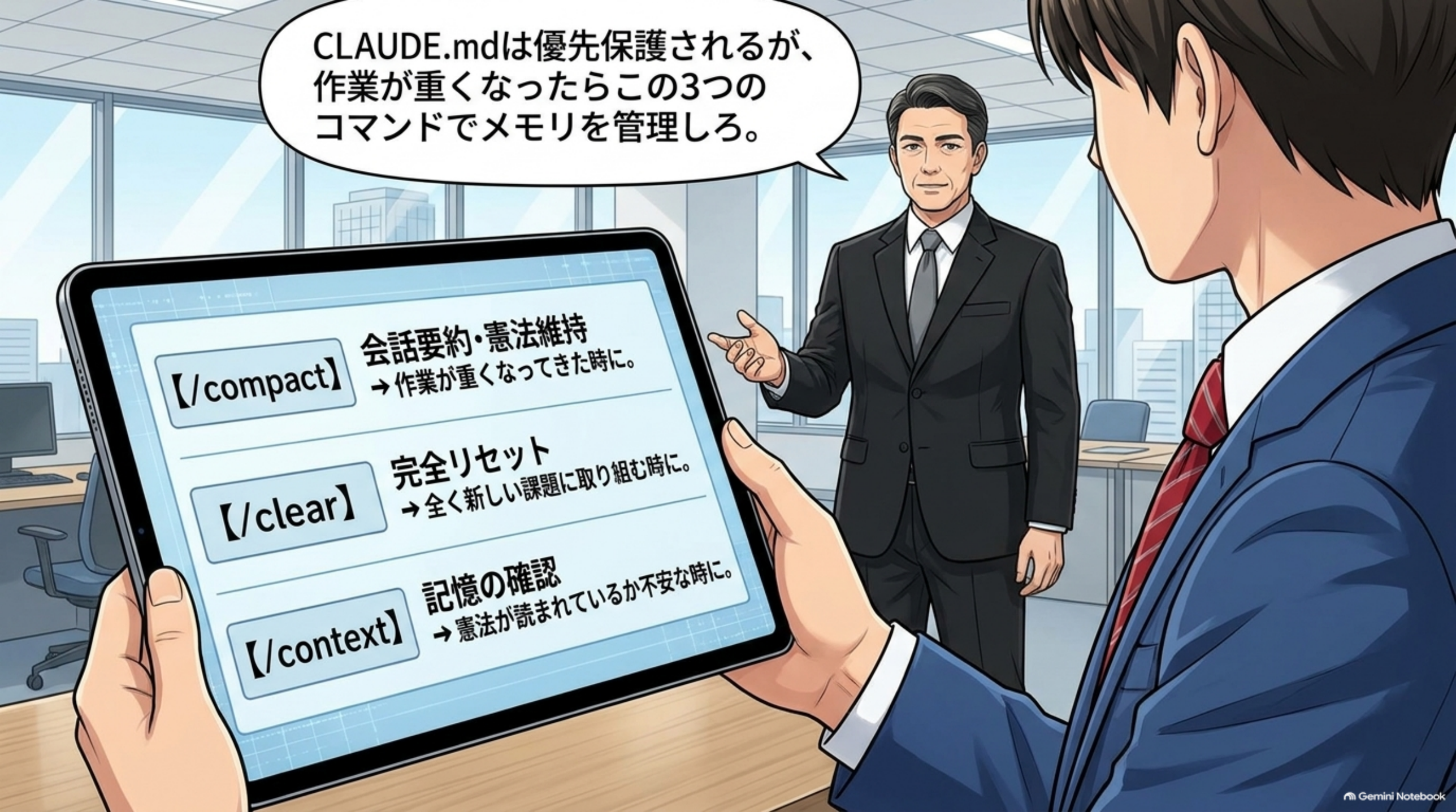
決定論的な制御と「4Dサイクル」

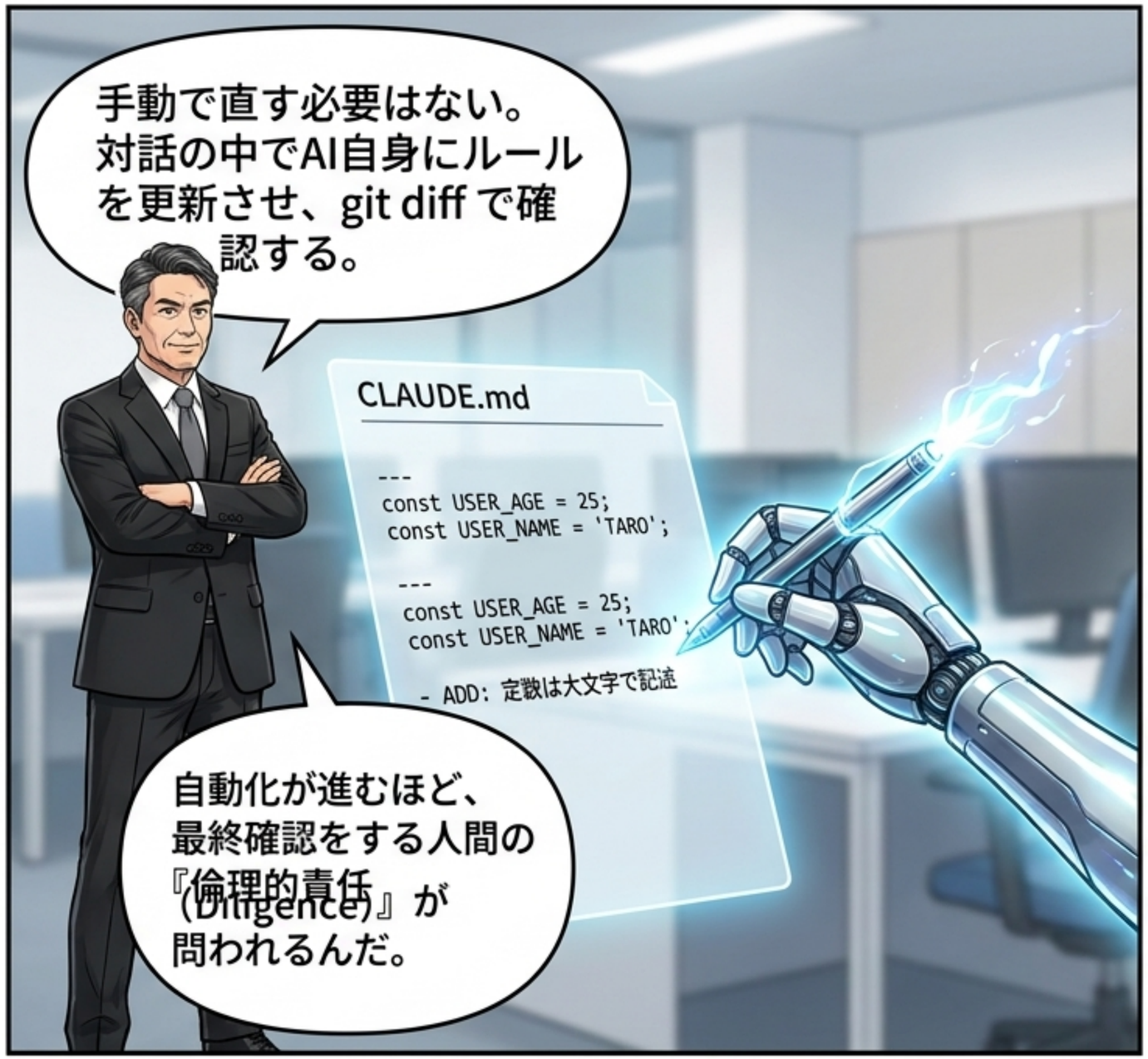






Gemini Notebook

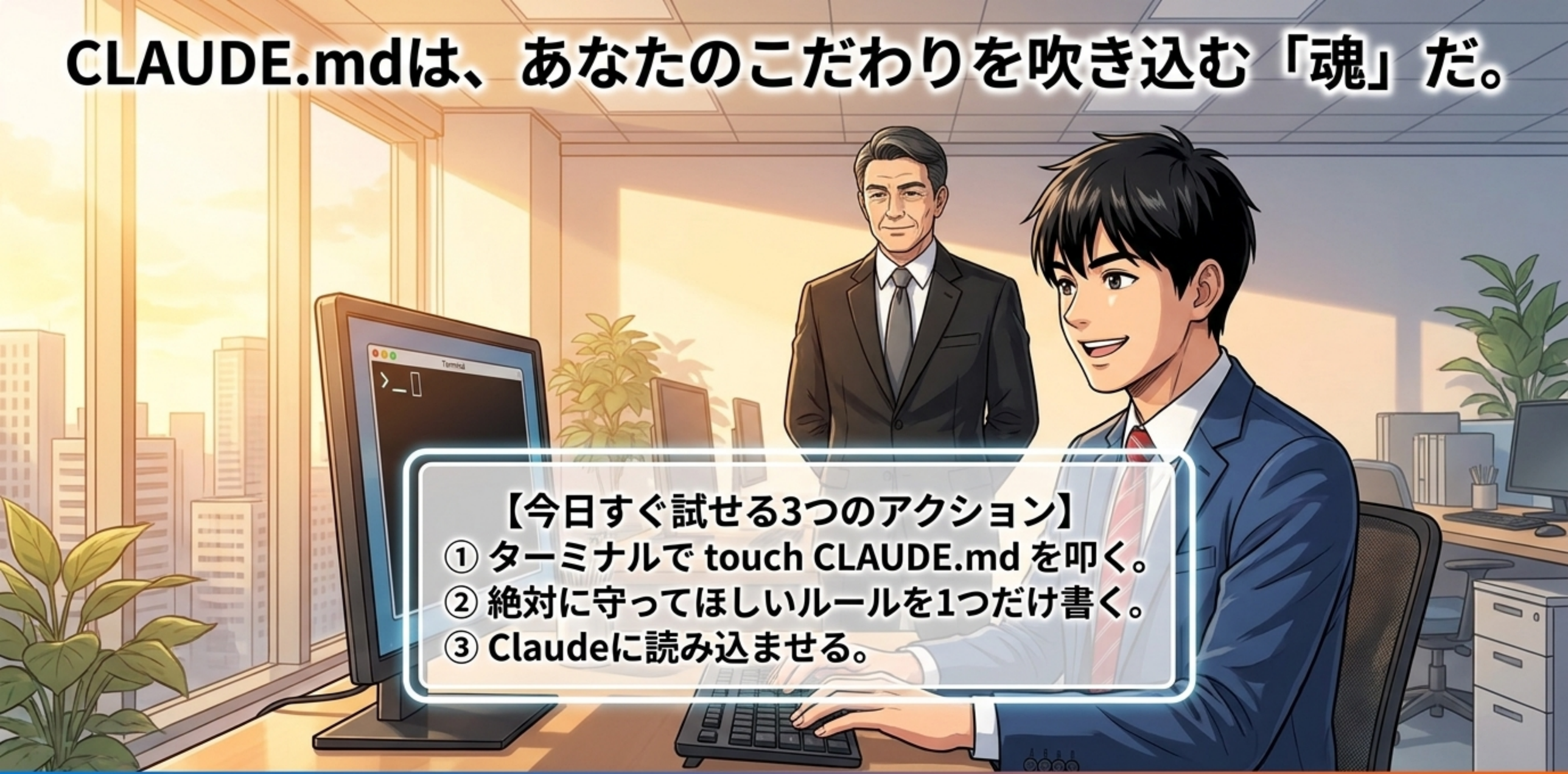

CLAUDE.mdは優先保護されるが、
作業が重くなったらこの3つの
コマンドでメモリを管理しろ。
【/compact】
会話要約・憲法維持
→作業が重くなってきた時に。
【/clear】
完全リセット
→全く新しい課題に取り組む時に。
【/context】
記憶の確認
→憲法が読まれているか不安な時に。
Gemini Notebook





Gemini Notebook

CLAUDE.mdは、あなたのこだわりを吹き込む「魂」だ。



さあ、あなた専用の最高最強のパートナーを創り出そう！

Gemini Notebook